



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月13日

上場会社名 株式会社 ゴルフ・ドゥ
 コード番号 3032 URL <http://www.golfdo.co.jp/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊東 龍也

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 並木 健二

TEL 048- 851- 3111

四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	1,392	4.2	51	16.5	54	14.1	47	5.0
30年3月期第1四半期	1,453	13.9	62	45.7	63	54.2	50	65.4

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 57百万円 (10.3%) 30年3月期第1四半期 52百万円 (185.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	19.54	
30年3月期第1四半期	19.77	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	2,625	401	15.3	164.49
30年3月期	2,732	344	12.6	140.95

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 401百万円 30年3月期 344百万円

(注) 平成31年3月期より、「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等の適用による表示方法の変更を行ったため、平成30年3月期の連結財政状態は当該変更を反映した遡及適用後の数値を記載しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		0.00	0.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,137	6.2	112	116.5	111	123.2	76		31.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次で業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	2,540,642 株	30年3月期	2,540,642 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	99,200 株	30年3月期	99,200 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	2,441,442 株	30年3月期1Q	2,540,642 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
売上高前年対比等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、個人消費の持ち直しが見られる一方で、消費者の節約志向が依然と残り、景気は底堅くも足踏み状態となっております。また、海外での保護主義の強まりや貿易摩擦などによる経済への影響が懸念され、先行き不透明な状況も続いております。

ゴルフ用品業界におきましては、ボールやグローブなどゴルフ用品が相対的に苦戦傾向にある反面、昨年末以降にメーカー各社から発売された新製品を中心とするゴルフクラブが好調に推移し、市場全体を牽引しております。また、新品ゴルフクラブは、数量ベース、金額ベースともに前年販売実績を上回りました（矢野経済研究所「YSPゴルフデータ」）。なお、平成30年4月および5月のゴルフ場および練習場の利用者数は、ゴルフ場が前年同月比98.1%、練習場が同99.4%といずれも前年実績を僅かながら下回りました（経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」より推計）。

このような経営環境のなか、当社グループでウェルネス事業を担っておりました子会社を平成30年3月31日付で譲渡しましたため、短期的には祖業であるゴルフ関連事業に集中し業績回復に努めております。

直営事業におきましては、平成30年4月に過去最高の人数となる新卒者を採用しており、本年秋以降に予定する「ゴルフ・ドゥ！」直営店出店に備えております。また、当第1四半期連結累計期間の売上高は、全店ベースでは前期から2店舗減少により、前年第1四半期比1.7%減となりました。既存店ベースでは購入単価および購入客数が前年実績を上回りましたため、同4.4%増となりました。フランチャイズ事業におきましては、平成30年4月に福島県に「ゴルフレンジアミーゴ福島成川店」、東京都に「アコーディア・ガーデン東京ベイ店」、神奈川県に「座間店」、5月に熊本県に「菊陽バイパス店」を出店しており、出店に関しましては好調なスタートを切っております。なお、平成30年6月末日現在の「ゴルフ・ドゥ！」直営店、フランチャイズ店の合計店舗数は、78店舗となっております。営業販売事業におきましては、USドルの為替レートの影響はさほど感じられない反面、US直輸入品で目立ったヒット商品が無く、米国の子会社による輸出や国内の卸営業の売上高は前年実績を下回っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高13億92百万円（前年同四半期比4.2%減）、営業利益51百万円（同16.5%減）、経常利益54百万円（同14.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は47百万円（同5.0%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。なお、ウェルネス事業を担っていた子会社である株式会社ナインルーツを平成30年3月31日付で譲渡しましたため、当第1四半期連結累計期間におけるウェルネス事業の実績はございません。

(直営事業)

当第1四半期連結累計期間における直営事業の売上高は9億17百万円（前年同四半期比1.7%減）となりました。また、セグメント利益は39百万円（同42.4%減）となりました。

(フランチャイズ事業)

当第1四半期連結累計期間におけるフランチャイズ事業の売上高は1億19百万円（前年同四半期比9.4%増）となりました。また、セグメント利益は50百万円（同8.7%増）となりました。

(営業販売事業)

当第1四半期連結累計期間における営業販売事業の売上高は3億55百万円（前年同四半期比10.1%減）となりました。また、セグメント利益は28百万円（同32.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っておりません。

(資産)

当第1四半期累計期間末における総資産は26億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億7百万円の減少となりました。

流動資産は、19億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金が34百万円増加、商品が1億31百万円減少したことによるものです。固定資産は、6億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円の減少となりました。これは主に長期貸付金が8百万円増加、貸倒引当金が9百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期累計期間末における流動負債は、12億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億64百万円の減少となりました。これは主に買掛金が1億73百万円、短期借入金が1億44百万円減少したことによるものです。固定負債は、9億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ99百万円の増加となりました。これは主に長期借入金が97百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は4億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ57百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が47百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は15.3%(前連結会計年度末は12.6%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月14日に公表いたしました平成31年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	444,639	479,635
売掛金	317,628	310,095
商品	1,274,616	1,143,371
短期貸付金	30,524	20,989
その他	44,338	46,914
貸倒引当金	△28,979	△19,427
流動資産合計	2,082,769	1,981,579
固定資産		
有形固定資産	253,925	251,641
無形固定資産	44,137	41,785
投資その他の資産		
投資有価証券	22,723	29,166
長期貸付金	273,539	282,219
敷金及び保証金	152,406	148,545
建設協力金	87,516	84,698
繰延税金資産	27,756	28,579
その他	30,634	29,570
貸倒引当金	△242,853	△252,406
投資その他の資産合計	351,723	350,373
固定資産合計	649,786	643,800
資産合計	2,732,555	2,625,379
負債の部		
流動負債		
買掛金	384,276	210,954
短期借入金	650,000	505,533
1年内返済予定の長期借入金	247,105	286,828
未払法人税等	32,942	15,905
賞与引当金	18,233	16,926
ポイント引当金	34,676	35,358
株主優待引当金	4,699	—
その他	136,386	172,311
流動負債合計	1,508,320	1,243,818
固定負債		
長期借入金	660,886	758,536
退職給付に係る負債	114,284	116,529
資産除去債務	43,670	43,860
その他	61,281	61,035
固定負債合計	880,122	979,960
負債合計	2,388,443	2,223,779

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	506,120	506,120
資本剰余金	159,523	159,523
利益剰余金	△259,394	△211,682
自己株式	△98,208	△98,208
株主資本合計	308,042	355,754
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,719	9,917
為替換算調整勘定	30,350	35,928
その他の包括利益累計額合計	36,070	45,845
純資産合計	344,112	401,599
負債純資産合計	2,732,555	2,625,379

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	1,453,224	1,392,579
売上原価	954,332	911,863
売上総利益	498,891	480,716
販売費及び一般管理費	436,835	428,872
営業利益	62,056	51,843
営業外収益		
受取利息及び配当金	669	2,134
受取手数料	1,526	1,380
為替差益	333	804
その他	763	521
営業外収益合計	3,293	4,841
営業外費用		
支払利息	2,104	2,179
その他	167	291
営業外費用合計	2,271	2,471
経常利益	63,078	54,214
税金等調整前四半期純利益	63,078	54,214
法人税、住民税及び事業税	12,226	9,493
法人税等調整額	622	△2,991
法人税等合計	12,848	6,502
四半期純利益	50,229	47,712
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	50,229	47,712

(四半期連結包括利益計算書)

(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成30年 4 月 1 日 至 平成30年 6 月 30 日)
四半期純利益	50,229	47,712
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,063	4,197
為替換算調整勘定	△194	5,577
その他の包括利益合計	1,869	9,775
四半期包括利益	52,099	57,487
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,099	57,487
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	直営	フランチャイズ	営業販売	ウェルネス	合計			
売上高								
外部顧客への売上高	933,891	108,969	395,363	15,001	1,453,224	—	—	1,453,224
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	4,653	△4,653	—
計	933,891	108,969	395,363	15,001	1,453,224	4,653	△4,653	1,453,224
セグメント利益又は損 失(△)	68,528	46,545	21,559	△7,732	128,901	620	△67,465	62,056

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない広告代理店事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	直営	フランチャイズ	営業販売	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	917,892	119,234	355,453	1,392,579	—	—	1,392,579
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	4,303	△4,303	—
計	917,892	119,234	355,453	1,392,579	4,303	△4,303	1,392,579
セグメント利益	39,451	50,572	28,657	118,681	272	△67,110	51,843

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない広告代理店事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度においてウェルネス事業を担っておりました株式会社ナインルーツの全株式を譲渡したことにより「ウェルネス事業」を、報告セグメントから除外しております。

3. 補足情報

売上前年対比等

当第1四半期連結累計期間における「ゴルフ・ドゥ！」店舗売上高前年対比は、以下のとおりであります。

	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月	第1四半期 合計
ゴルフ・ドゥ！ 全店	101.2%	97.8%	98.2%	99.0%
ゴルフ・ドゥ！ 既存店	99.7%	100.0%	98.1%	99.3%
直営店 全店	98.3%	100.3%	96.3%	98.3%
直営店 既存店	104.5%	106.1%	102.6%	104.4%
F C店 全店	103.1%	96.3%	99.3%	99.5%
F C店 既存店	96.7%	96.0%	95.4%	96.0%

当第1四半期連結累計期間における「ゴルフ・ドゥ！オンラインショップ」売上高前年対比、アクセス数前年対比、会員数（累計）、会員数前年増加率は、以下のとおりであります。

	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月	第1四半期 合計
売上高前年対比	104.8%	100.4%	91.1%	98.4%
アクセス数前年対比	106.5%	107.6%	103.1%	105.7%
会員数（累計）				275千人
会員数前年増加率				11.9%

(注) 会員数は「ゴルフ・ドゥ！オンラインショップ」の会員数であり、「ゴルフ・ドゥ！」店舗の会員数とは異なります。